

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月18日更新

事務事業名		御代志地区土地区画整理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	坂本 浩成
	施策	23	計画的な土地利用の推進			所属課	土地区画整理室	担当者名	合林 利晃
	施策の柱	65	計画的な市街地の形成			所属班	土地区画整理班	(内線)	5272
予算科目	会計一般	款 8	項 4	目 7	事業連番 11743	根拠法令	土地区画整理法、都市計画法等		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 30 ~ 4 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	本市における交通の中心となる御代志駅や国道387号のほか地域医療・文教施設等の公的機能が集積している御代志地区において、土地区画整理事業を展開することにより、駅周辺の交通結節機能の向上や各種道路網の整備とともに、生活サービス機能の向上を目指した商業施設や集合住宅等が立地可能な大街区を創出を図る。これにより計画的な市街地を形成し、合志市の顔としての拠点づくりを目指す。
【業務の流れ】	土地区画整理事業の基本的な流れとしては次のとおりとなる。 ①企画・調査、②都市計画、③事業計画、④換地設計、⑤仮換地指定、⑥移転・工事、⑦換地処分、⑧清算
【主な予算費目】	委託料、公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事請負費等
【意見や要望】	渋滞解消や生活サービスの向上のため早期の事業実施を望む声がある一方で、道路整備に伴う家屋移転等に対し後ろ向きな意見もある。事業への理解を得ていただくための住民説明会を都度行っており、関係地権者の意見や要望は変遷している状況である。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	事業施行地区を含む近隣地域において、平成30年8月に48.7haが市街化区域に編入され、これに併せて都市計画事業としての土地区画整理事業を決定した。その後、同年11月に御代志土地区画整理事業の認可を得て、公共団休施行による土地区画整理事業へ着手した。また、同年12月には事業地内の権利者を対象に土地区画整理事業に関する説明会を開催し、事業に対する認知度向上に努めながら、道路・地区界の測量や換地方針の検討などの委託業務を進め、事業の推進を図った。 【基準に達しなかった理由】 関係機関との協議に不測の日数を要し、委託業務の年度内完了が困難になったことから、未完了の業務について翌年度に繰り越したため(繰越明許費: 85,846千円)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 用地交渉、先行買収(減価買収・国有地等取得)、各種委託事業(鑑定評価・建物調査・区画整理実施設計・各種測量設計)等のほか、地元説明会や国・県などとの関係機関協議を予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) %	予算の主な増減の理由
→ ア: 事業進捗率	%	前年度11月の認可を受け事業着手したことによる委託料・公有財産購入費等の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) %
御代志地区における土地利用		→ ア: 仮換地指定を行なった地権者割合
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ha
地域の特性にあった土地利用がなされる		→ ア: 創出した大街区のうち土地の利活用がなされている面積
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 4年度
地域の計画的な市街化に伴い、創出する大街区における生活サービス施設等の充実が必要となることから成果指標を設定した。 次年度の目標値については、施工が完了していないことから使用収益が開始できないため0として設定している。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	ア	%			2.9	2.9	14.4	20.6	35.6	58.8	
	イ										
② 対象指標	ア	%			0	0	0	11	18	26	
	イ										
③ 成果指標	ア	ha			0	0	0	0	0	0.65	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円		55,000		127,060	42,000	26,300	100,800	
		都道府県支出金	千円				10,000	29,600	359,000	414,000	
		地方債	千円					150,600	66,000	47,400	137,600
		その他	千円			10	25	10		50,000	100,000
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円			45,092	3,274	50,793	64,400	6,300	3,600
		(A) 事業費計	千円			100,102	3,299	338,463	202,000	489,000	756,000
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人			4	4	4	6	6	6
延べ業務時間		時間			5,310	5,310	6,600	10,000	10,000	10,000	
(B) 人件費計		千円			21,155	20,932	26,294	39,840	39,840	39,840	
トータルコスト(A)+(B)		千円			121,257	24,231	364,757	241,840	528,840	795,840	

事務事業名	御代志地区土地区画整理事業	所属部	都市建設部	所属課	土地区画整理室
-------	---------------	-----	-------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業計画書に基づく進捗管理を行っており目標達成はできると考える。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 区画整理事業自体や特に大街区の創出について公民連携等を推進することで、大規模デベロッパー等民間事業者の積極的な参入が考えられ、さらなる土地の利活用が図られる可能性があり、成果向上の余地はあるといえる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 御代志地区の土地区画整理事業に特化した事業であり類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業計画書に基づく事業費を計上しており削減の余地はないが、交付金・補助金・起債等を最大限活用し、財政負担の軽減に努める。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業に対して十分な人員が確保できているわけではなく必要最小限の人件費である。削減の余地はないと考える。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 新市建設計画で基本施策として定義されており、快適な都市基盤の整ったまちづくりを創出するもので、市の経済政策でもあることからその効果は市全域に及び公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 御代志地区の土地区画整理事業については、減価補償地区での事業であり、公共団体での施行しかできない。役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

年度当初から事業認可手続きを進め、11月の認可を受け事業に着手することができた。また、住民説明会も行ない、事業への認知度も向上してきていると考える。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も関係地権者・機関等との協議や公民連携の推進に努め、円滑な事業展開を図っていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						